

会報

Bulletin



Topics

香川高専産業技術振興会総会を開催しました。

9月17日(木)、リーガホテルゼスト高松にて、第6回香川高専産業技術振興会総会を開催しました。

総会には、法人会員、個人会員及び香川高専教職員を含めて総勢63名が参加し、平田会長(株式会社ヒューテック相談役)及び八尾校長(香川高専)の挨拶の後、第6事業年度の事業報告・会計報告および第7事業年度の事業計画・予算が提案され、承認を受けました。

今回は、会員企業との共同研究等の活性化を目的としたシーズ発表会、八尾校長による「専門家になりたくない」と題した講演会を企画し、大変充実した内容となりました。

その後、会場を移して振興会会員企業間や香川高専教職員との交流会が行われ、和やかな雰囲気の中での懇親、交流がはかられました。



目次

contents

- | | |
|--------------|---------------|
| 2 役員挨拶 | 12 会則及び細則 |
| 7 総会報告 | 14 役員名簿・会員名簿 |
| 9 活動報告 | 16 事務局からのお知らせ |
| 11 香川高専の活動紹介 | |

役員挨拶

□ 会長挨拶

株式会社ヒューテック
相談役 平田 喜一郎



生産性向上運動への取り組み

生産性向上運動は、古くて新しい運動であります。

戦後、日本生産性本部が中心となり、全国各地に夫々生産性本部が設けられ我が国の復興に寄与してきました。私もかつて四国生産性本部には大変お世話になった一人であります。

現在我が国は人口減少というかつて経験したことのないような大きな課題に直面し、新たな生産性向上に迫られております。このような時、私は従来にはない新しい考え方で生産性向上に取り組めば良いのではないかと考えております。その考え方とは、"利他の精神"に基づいて考えるということです。このような考え方をもとに生産性の式を従来のものから次に示す新生産性の式に書き換えてみました。

新生産性=顧客の付加価値÷インプット

従来では顧客の付加価値ではなく当然ながら自社の付加価値となっております。つまり利己から利他へ視点を変えてみたのであります。この式に売り上げの概念を加えると次のようになります。

新生産性=(顧客の付加価値÷売り上)×(売り上÷インプット)

左辺の売り上げは顧客にとってはコストとなりますから、式は

新生産性=(顧客の付加価値÷コスト)×(売り上÷インプット)

となり、左辺は、マーケティングでいうカスタマー・バリューを示し、右辺は自社の効率を示すようになります。

私は現在この考え方で地元の企業七社でイノベーションに取り組んでおります。

役員挨拶

副会長挨拶

株式会社タダノ
取締役執行役員常務 西 陽一郎



はじめまして。この度、副会長を仰せつかりました株式会社タダノの西と申します。
先の交流会のときにも申し上げました通り、小職も高等専門学校出身でございます。社会に出てからずっと開発設計畑を歩んで参りましたが、早いもので、1976年の卒業以来、40年近い歳月が経とうとしています。その間、産業構造の変化とともに、いわゆる「高専」の果たす役割も少しずつ変わって来てはいるのだろうとは思いますが、技術立国日本のための産業技術振興に深く関わって行かなければならない、ということはこれからもずっと変わらないでしょう。個人的には生涯一技術者でありたいと思っておりました。最近では技術以外にも色々悩まねばならないことが多くなって参りましたが、今回この産業技術振興会に関わらせていただくことになり、あらためてエンジニアとしても何かお役に立たせていただきたいと思っております。何卒宜しくお願い申し上げます。

副会長挨拶

株式会社百十四銀行
取締役常務執行役員 綾田 裕次郎



この度副会長に就任させていただきました綾田と申します。よろしくお願い致します。
私が身を置く金融業界で、今最も注目を集めている言葉に「Fintech=フィンテック」という単語があります。これはFinance(金融)とTechnology(技術)を組み合わせた造語ですが、金融の分野においてもIT技術を駆使した新商品や新サービスの開発が注目を浴びています。具体的には、最近話題となったビットコインもそうですが、クラウドファンディングや各種会計サービス、身近なものだと家計簿アプリなどもその一例です。
今までは「信用第一」だった金融機関の役割もこれからは「もっと便利に使いやすく」が求められてきています。こういった機会を捉え、産業技術振興会の活動の一環として金融分野での技術革新についてもさまざまな研究を行っていただき、地域の皆様の利便性向上と人材の育成に資することを期待している次第でございます。

理事挨拶

アオイ電子株式会社
常務取締役管理本部長 木下 和洋



昨年(平成26年)本会の理事を拝命いたしました木下でございます。
アオイ電子は1969年の創業以来、半導体をはじめとする電子部品の製造に取り組んでおりますが、多くの香川高専の卒業生の皆様にご活躍をいただき感謝いたしております。
この10年、海外勢の追い上げに円高が加わり、国内では大手企業の事業再編の動きにみられるように「日の丸半導体」は昔日のこととなりました。最近では、為替相場も安定し、海外における労務費の上昇もあって、コスト的には対等に戦えるレベルに回復してはおりますが、今後、我が国が優位性を保つためには、技術力(信頼性)、開発力(付加価値製品を生み出す)は不可欠の課題だと考えております。
地方の活性化が強く叫ばれる中、香川県の成長の基盤である技術力の向上に本会が中心的な立場で貢献できますことを心より祈念申し上げます。
今後ともご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

役員挨拶

理事挨拶

株式会社石垣
代表取締役社長 石垣 真



近年、社会や産業構造の変化はめまぐるしく、それに対応すべく実践的で創造的な技術者が求められています。特に、国内需要がまだ回復していないなか、海外市場開拓の重要性は一段と高まっており、国際的に活躍できる人材の育成が必須課題となっております。

香川高専においても一層のグローバル化に対応して、国際交流活動などが積極的に進められておりますが、香川高専産業技術振興会でも学生の研究成果を国内外へ発表するための支援基金の創設など、様々な形で活動をサポートしていることを喜ばしく思っております。

弊社はこれまでに香川高専から多くの卒業生を迎え、また、共同研究の実施や本会活動を通じて連携を深めてまいりました。これからも県内に工場を構える「ものづくり」企業の一員として振興会会員および学校関係者の皆様と共に、香川県の産業界の発展に寄与してまいりたいと考えております。

理事挨拶

鹿島建設株式会社
常務執行役員四国支店長 風間 優



鹿島建設の風間でございます。日頃より皆様には大変お世話になっており、厚く御礼申し上げます。

さて、近年国内各地で地震や風水害等、自然災害による被害が激増しています。ここ四国でも、南海トラフ巨大地震がいつ起きてもおかしくないとされており、一刻も早い対策が求められています。また、高齢化の進む四国の活性化に直結するインフラ整備もまだまだ道半ばです。

こうした中、災害対策の整備や被災地の復旧、新たな交通網整備という重要な役割を担う技術者や技能労働者不足が、深刻な問題となっております。

技術の進展に伴う自然条件の分析や適切な対策が切に求められる今日、必要な技術者を輩出する実質的な支援組織として、香川高等専門学校及び本振興会への期待が大きくなっております。ますます発展される事を心より祈念しまして、ご挨拶とさせていただきます。

理事挨拶

川田工業株式会社四国工場
鋼構造事業部生産部四国工場長 辻 巧



今日の日本経済は、過去20年にわたる供給過剰(デフレ)から供給不足(インフレ)に移る端境期にあるといえます。アベノミクス政策のうち、第1の矢、第2の矢が放たれ、円安や株高、および大規模な財政支出による需要増加などにより、企業収益が改善傾向にあります。

ただし、これらの政策は政府および日銀が主役であり、持続的な政策ではありません。次に放たれようとしている第3の矢(成長戦略)こそ、少子高齢化など多くの課題を抱えている我が国の成長性を高めるための民間主体の本質的な政策といえます。しかしながら、その実行には規制改革やTPPなど、多くの課題もあり、失速気味にあります。

このような環境の中、本振興会は、その目的である「地域産業と香川高専の連携を深め、地域産業の発展と香川高専の教育研究の振興に寄与すること」に鑑み、地域の「ものづくり」の発展、すなわち地方創生を担うエンジニアの育成における役割が益々大きくなっていくと思われまます。

最後になりますが、本振興会会員と学校関係者皆様の益々のご活躍を祈念して、挨拶の言葉とさせていただきます。

役員挨拶

理事挨拶

株式会社四国総合研究所
代表取締役社長 藤本 靖



先頃、2人の日本人がノーベル賞を受賞される報道がありました。私は特にノーベル医学生理学賞に輝いた大村智先生が「人の役に立つ研究を重んじる姿勢と、失敗を恐れない精神の大切さ」を語っておられた点に感銘を受けました。大村先生の功績は、土壌から新種の菌を見つけ、この菌が生成する化合物に寄生虫の神経を麻痺させる作用があることを発見し、新薬を生み出した点にあります。新薬開発に成功した大きな要因は、米国の製薬会社と始めた共同研究の手法にあったそうです。大村先生が研究資金を受けて発見した化合物の使用権を製薬会社に渡し、新薬を開発・販売できたなら特許料を得る手法は、当時「大村方式」と呼ばれ、創薬分野の産学連携に先鞭をつけたと言われていました。本振興会においても香川高等専門学校から有望なシーズが生まれ、地域産業界の技術力で具現化するオープンイノベーションを展開し、地域の発展に貢献してゆくことを願っております。

理事挨拶

四国電力株式会社
常務取締役 末澤 等



東日本大震災から4年7ヶ月が過ぎましたが、復興の進捗が捗々しくないなか、一億総活躍社会実現（誰もが地域でより活躍できる社会の実現を目指す）をスローガンとした第三次安倍改造内閣が発足・スタートし、引き続き、東日本大震災や原発事故の被災地復興に取り組んでゆくこととされております。

四国地域においても、南海トラフによるM8～9クラスの巨大地震・津波の発生確率が向こう30年以内で60～70%と言われており、これらに備えることはもとより、少子高齢化の進展とこれに伴う地域活力の低下などにも対処してゆく必要があります。

そのためには、産業基盤となる技術力を支える人材を育成するとともに、イノベーションの芽を育み発展させて新しい産業を創出してゆくことが必要不可欠と考えられます。

本振興会において、香川高等専門学校の教育・研究と地域産業界が連携を深めることで、そのような役割を果たし、香川県さらには四国地域全体の発展と幸せにつながるものと大いに期待しております。

理事挨拶

四国旅客鉄道株式会社
代表取締役専務鉄道事業本部長 半井 真司



JR四国は、地域の皆様に支えられながら、安全・安定輸送を第一に、心のこもったサービスの提供に努め、お客様に安心して喜んで利用していただける企業を目指し、日々業務に取り組んでいます。

産業界においては、安全・安心を確保することへの取り組みが必要不可欠であります。技術の進歩とともに優れた設備やシステムが導入されていますが、それらを扱う「人」の力が衰えては先に進むことはできません。特に、会社の顔であり現場の第一線で業務を行う「人」の力を向上させ、そのレベルを継続していくことが重要な鍵となります。将来的に少子高齢化が進む四国においては、企業を支える技術者をより効果的に育成・確保していくことが必要だと考えております。

そのためにも、この産業技術振興会の活動を通して、香川高等専門学校と地域産業界がこれまで以上に連携を深め、協力体制を築いていくことを期待しておりますし、活動を継続していくことが四国の発展につながると考えております。

役員挨拶

理事挨拶

株式会社レクザム
取締役副社長生産本部長 住田 博幸



本会の理事を務めさせて頂いております、住田と申します。いつの間にか前期高齢者の分類に突入をしてしまった初老の人ですが、まだ現役にて株式会社レクザムの会社経営に携わっております。

また、香川高専(旧高松高専電気工学科 S43年卒)の卒業生ということもあり、特に本会に対する思いは強く、本会の発展を強く願っているところです。

本会も早いもので、もう第7事業年度になり会員会社も100社を超えて活動を致しておりますことは、大変有意義なことと感じております。

ところで、特に昨年あたりから企業の人材募集、とりわけ新規学卒者の採用が厳しくなり企業の経営者や人事担当部門の人たちの頭を悩ませているところではありますが、残念ながら香川高専の本科や専攻科卒業生の地元企業への就職率は低空飛行が続いております。

本会設立の主目的であります“香川高専と地域産業界との連携を強めて、互恵のメリットを享受する”との趣旨に基づいて、両者の架け橋になるべく、微力ながら全力を尽くして参りたいと思います。

幹事挨拶

三和電業株式会社
代表取締役 山地 真人



この度、香川高専の産業技術振興会幹事を拝命しました、山地真人です。

私は、昭和44年、本校前身の高松高専を卒業し、設備工事会社の2代目として事業を引き継ぐと共に、設備工事の周辺事業会社を7社ほど創業し、経営して参りました。当社グループでは多くの香川高専卒業生が技術者として活躍しており、彼らの働く姿に「香川高専の歴史と高専生の心意気」を感じています。

私は1年余り前から「年数回の学生への出前講座」を持っており、試行錯誤しつつ「高専技術者は何を指すべきか」を中心にお伝えして参りました。

工学系の学生への社会の期待は、ますます大きく、高専卒業生は各方面で活躍をされています。多くの香川高専卒業生が、香川を元気にまた日本を元気にする人材として、益々発展していくことを祈念し、私なりに全力で支援して参る所存です。

幹事挨拶

香川高等専門学校
副校長 木原 茂文



産業技術振興会幹事を務めさせて頂くことになりました木原でございます。

日頃よりご協力とご支援を賜りまして、誠に有難うございます。

県内に技術系の高等教育機関が無い時代から、企業の皆様とは深い信頼関係を築き上げることができており、今以上に深化させたいと思っています。会員企業の皆様に貢献できる道として、新卒者の輩出、共同研究、企業の方々の技術教育などが挙げられます。これらの活動は、本校にとりまして有難い機会でもあり、共同研究を通しての実践的な学校教育が実現できます。更に、様々な機会を通しての、企業の方々の経験談などを学生に話していただくことにより、学生の人間力を高めることもできます。人材を輩出する教育機関であり続けるためにも、本会に期待する部分は多く、今後とも、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

総会報告

日時	平成27年9月17日(木) 16時00分～17時00分
場所	リーガホテルゼスト高松(場所：3階 ダイアモンド東の間)
次第	1.開会の辞 2.会長挨拶 株式会社ヒューテック相談役 平田 喜一郎 3.校長挨拶 香川高専 校長 八尾 健 4.議 事 (1)第6事業年度事業報告について (2)第6事業年度会計報告について (3)第7事業年度事業計画について (4)第7事業年度予算について (5)役員交代について (6)その他 5.閉会の辞

◎第6事業年度事業報告について

- I 産学連携による技術開発の推進、地域産業の発展に関すること。**
(1)シーズ発表会等の案内 (実績なし)
- II 技術に関する講演会、講習会、研修会などの開催及び情報誌の発行。**
(1)講習会、研修会等の後援および案内 (2)イブニングセミナーの開催
(3)教職員の会員企業訪問見学会 (4)会報の発行
- III 技術分野での技術相談、情報交換に関すること。**
(1)共同研究・受託研究・技術相談の件数(平成26年度) (2)共同研究等推進支援事業による支援件数
- IV 企業社員の研修等育成支援事業に関すること。**
(1)会員企業への出前講座
- V インターンシップ、共同教育に関すること。**
(1)インターンシップの受入れ先(平成27年度)
(2)会員企業技術者の客員教授としての学生教育の実施
- VI 企業説明会・見学会、卒業生による就職説明会に関すること。**
(1)合同企業説明会への参加
- VII 香川高専の教育・研究の充実、振興に関すること。**
(1)発明コンテストの補助 (2)平成26年度出前授業等(香川県との連携)
- VIII その他、本会の目的達成に必要な事業に関すること。**
(1)産業技術振興会HPの更新

◎第6事業年度会計報告について

【収入の部】

事 項	収入額	概 要
前期繰越金	2,022,441 円	
会費収入	3,250,000 円	
その他収入	473 円	
合 計	5,272,914 円	

【支出の部】

事 項	支出済額	概 要
技術者育成事業経費	671,114 円	見学会及講師謝金他
共同研究等推進支援事業経費	1,000,000 円	振興会共同研究等支援事業
就職説明会実施経費	468,240 円	会場設営費
運営経費	599,382 円	会場借上料他
次期繰越金	2,534,178 円	
合 計	5,272,914 円	

【会計監査報告】 会計監査人 株式会社レクザム 取締役副社長生産本部長 住田 博幸
会計監査人 株式会社石垣 取締役執行役員開発部長 片山 雅義

総会報告

◎第7事業年度事業計画について

I 産学連携による技術開発の推進、地域産業の発展に関すること。

(1)シーズ発表会等の案内

II 技術に関する講演会、講習会、研修会などの開催及び情報誌の発行。

(1)講演会等の開催(1回) (2)講習会、研修会等の案内・補助 (3)イブニングセミナー開催
(4)研究交流会の案内 (5)教職員の会員企業訪問見学会 (6)会報の発行

III 技術分野での技術相談、情報交換に関すること。

(1)技術相談、共同研究、受託研究の促進 (2)共同研究等推進支援事業の支援

IV 企業社員の研修等育成支援事業に関すること。

(1)会員企業への出前講座の実施

V インターンシップ、共同教育に関すること。

(1)インターンシップへの支援 (2)企業技術者活用教育

VI 企業説明会・見学会、卒業生による就職説明会に関すること。

(1)合同企業説明会の開催

VII 香川高専の教育・研究の充実、振興に関すること。

(1)サイエンスフェスタへの企業展示依頼 (2)発明コンテストの補助

VIII その他、本会の目的達成に必要な事業に関すること。

(1)振興会パンフレット作成・配布 (2)振興会HPの維持管理

◎第7事業年度予算案について

【収入の部】

事項	予算額	概要
前期繰越金	2,534,178円	
会費収入	3,160,000円	
その他収入	470円	
合計	5,694,648円	

【支出の部】

事項	予算額	概要
講演会等実施経費	100,000円	講師謝金及旅費
技術者育成事業経費	877,000円	見学会及講師謝金他
共同研究等推進支援事業経費	1,000,000円	振興会共同研究等支援事業
就職説明会実施経費	550,000円	会場設営費
運営経費	1,375,000円	会場借上料他
予備費	1,792,648円	
合計	5,694,648円	

◎役員交代について

I 副会長の交代について

(旧) 株式会社タダノ 顧問 大藪 修二 様
(新) 株式会社タダノ 取締役執行役員常務 西 陽一郎 様
(旧) 株式会社百十四銀行 取締役常務執行役員 安藤 陽徳 様
(新) 株式会社百十四銀行 取締役常務執行役員 綾田 裕次郎 様

II 理事の交代について

(旧) 鹿島建設株式会社 執行役員四国支店長 安藤 進 様
(新) 鹿島建設株式会社 常務執行役員四国支店長 風間 優 様
(旧) 川田工業株式会社四国工場 工場長 内田 修平 様
(新) 川田工業株式会社四国工場 鋼構造事業部生産部四国工場長 辻 巧 様

III 幹事の交代について

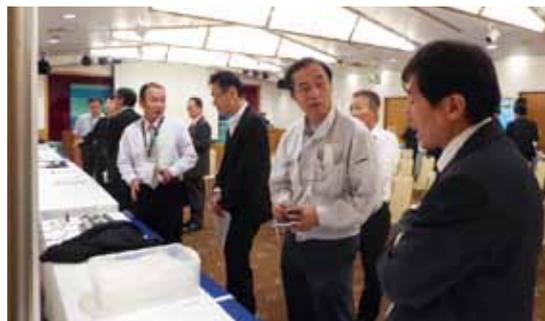
(旧) 香川高等専門学校 機械工学科教授 橋本 良夫 様
(新) 香川高等専門学校 副校長 木原 茂文 様

活動報告

◎シーズ発表会の開催について

平成27年9月17日(木)にリーガホテルゼスト高松において、香川高専教員によるシーズ発表会を開催しました。この発表会は、振興会会員企業との共同研究推進を図ることを目的として、総会の日程に併せて実施したものです。

14時からショートプレゼンテーションを行い、その後、パネルディスカッションを行いました。初めての取り組みでしたが、振興会会員企業と香川高専教員との活発な意見交換があり、共同研究を推進する上で有意義な時間となりました。



【展示内容一覧】

No.	学科名	発表教員	ポスター内容
1	一般教育科	三崎 幸典	香川高専詫間キャンパスにおけるPM2.5と化学成分の測定
2	機械工学科	山崎 容次郎	仕事制御とパワー制御のトマト収穫ロボットへの応用
3	機械工学科	高橋 洋一	アルギン酸カルシウムを結合剤としたダイヤモンド研磨砥石の開発
4	通信ネットワーク工学科	小野 安季良	IC接合不良検出技術
5	通信ネットワーク工学科	塩沢 隆広	EMC対策サイトとして利用可能な電波暗室
6	電気情報工学科	漆原 史朗	広帯域センサレス力制御を用いた高精度工作機械の実現
7	電気情報工学科	山本 雅史	簡素なプラズマレス高濃度ラジカル生成技術の開発とその応用
8	電子システム工学科	天造 秀樹	学生発シーズ紹介
9	電子システム工学科	三崎 幸典	乳幼児突然死症候群防止用センサ
10	機械電子工学科	徳永 秀和	テキストデータマイニングのための統合環境TETDM
11	機械電子工学科	逸見 知弘	人が持つ技能の数値化と制御系設計への応用
12	情報工学科	金澤 啓三	プロコン作品紹介
13	建設環境工学科	向谷 光彦	実践的な原位置透水試験装置の高精度化
14	建設環境工学科	鈴木 麻里子	生分解性樹脂コンクリートに関する研究

◎特別講演会の開催について

平成27年9月17日(木)にリーガホテルゼスト高松において、八尾健香川高専校長による特別講演会を総会の日程に併せて開催しました。

講演会には、香川高専産業技術振興会の法人会員、個人会員及び香川高専教職員が参加し、「専門家になりたくない」と題してご講演いただきました。

講演後は、平田会長をはじめ振興会会員企業の皆様から、活発な質疑応答がありました。



活動報告

◎共同研究等支援事業報告について

振興会会員企業と香川高専教員との共同研究などの密な取組みについて、当該研究のいっそうの効率化をはかるための振興会からの支援を行うことを目的として、第6事業年度に事業化された共同研究等支援事業について、決算報告でもお知らせしましたとおり5件1,000,000円の支援を行いました。第7事業年度におきましても会員企業との共同研究の活性化のため、本支援事業のご承認をいただいておりますので、是非とも共同研究等のご検討をよろしくお願いします。

◎イブニングセミナーの開催について

香川高専では、振興会会員企業と香川高専教員の交流を深め産学連携を推進するために、「イブニングセミナー」を定期的を開催しています。主に一般系、機械系、電気系、情報系、土木系、建設環境系に分け、話題提供者は、香川高専教員だけでなく会員企業の経営者又は技術者の方にもご協力頂いています。開催状況は次のとおりです。

平日の夜等に開催しておりお気軽にご参加頂く行事として今後も計画しますので、お時間の都合がつかましたら是非ご参加ください。

第42回/平成27年7月19日(日) 13:00~17:00

講師: 香川高専 電気情報工学科 准教授 村上 幸一

話題: 1. RaspberryPiについて

(簡単な紹介、利用可能なOS、OSインストール方法の説明、等)

2. Windows 10 IoT Core for RaspberryPi のインストールとプログラミング

3. 事例発表など

第43回/平成27年9月30日(水) 14:00~15:30

講師: 一般財団法人 地域地盤環境研究所 本郷 隆夫 氏、赤井 俊文 氏、平野 浩二 氏

香川高専 客員教授 久保 慶徳 氏、香川高専 建設環境工学科 教授 向谷 光彦

話題: 現場で役立つ三軸試験の操作と実務

1. 三軸試験で土の強度定数 c, ϕ を調べる意義

2. 三軸試験機の基本操作と適用

3. 三軸試験機による液状化強度とは

第44回/平成27年10月16日(金) 18:30~20:00

講師: 坂出市環境交通課 課長補佐 福田 倫丈 氏

話題: 坂出市の公共交通に関する取組みについて

第45回/平成27年10月25日(日) 13:00~17:00

講師: 香川高専 電気情報工学科 准教授 村上 幸一

話題: 1. 最新のWindows 10 IoT Core for RaspberryPiとプログラミング環境

2. Windows 10 IoT Core for RaspberryPi のプログラミング

3. 事例発表など



香川高専の活動紹介

◎第6回香川高専発明コンテストの表彰式について

平成27年11月11日(水)に第6回発明コンテストの表彰式を行いました。表彰式では、全国パテントコンテスト推薦賞、香川高専校長賞、香川高専産業技術振興会長賞、香川高専地域イノベーションセンター長賞および奨励賞の学生が表彰され、賞状と記念品が授与されました。学生達がさらに研鑽を積み、次回以降のコンテストに挑戦してくれることを期待しています。

<p>👑全国パテントコンテスト推薦賞 (最優秀賞) 1件(2名)</p> <p>佐々木 弘樹 機械電子工学科 5年 佃 聖人 機械電子工学科 5年</p>	<p>👑香川高専産業技術振興会長賞(技術賞) 1件</p> <p>大木 悠吾 機械工学科 1年</p>	
<p>👑香川高専校長賞(優秀賞) 1件(3名)</p> <p>川崎 銀士 機械電子工学科 5年 山本 怜央 機械電子工学科 5年 山本 純輝 機械電子工学科 5年</p>	<p>👑香川高専地域イノベーションセンター長賞 (アイデア賞) 1件</p> <p>山内 彩加 創造工学専攻 2年</p>	
<p>👑奨励賞 2件</p> <p>三宅 洋輔 機械工学科 1年 辻 敦弘 機械工学科 1年</p>		

◎「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+事業)に関する協定書」の締結について

平成27年11月30日(月)に香川大学オーリースクエア2階多目的ホールに於いて、香川大学、四国学院大学、香川県立保健医療大学及び香川高専と香川県による「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+事業)に関する協定書」締結式が行われました。本協定は、連携校と香川県が協働し、地方創生に向けた取り組みを実施することで、若者の地元就職及び地元定着を促進させ、活力ある地域社会の形成と持続的発展に寄与することを目的としております。

香川高専では本協定による協働事業を進めると共に、産業技術振興会との連携をより深め、県内就職率の向上及び県内雇用創出の増加を目指していきます。



◎技術講座の開催について

香川高専では、かがわ産業支援財団(かがわ中小企業応援ファンド)と共催で製造技術の高度化やIT化の進展に対応できる人材の育成を図ることを目的とし、企業の中核として活躍が期待される技術者等を対象とした各種技術講座を実施しています。最近の開催内容については以下のとおりです。

有限要素法解析入門

講師: 岩田 弘(香川高専)

日程: 平成27年9月1日~2日

組込み技術セミナー(組込みAndroidコース)

講師: 鈴木 圭介氏、桐畑 鷹輔氏(日本Androidの会 神戸支部)

日程: 平成27年9月12日

組込み技術セミナー(基礎コース)

講師: SESSAME講師

日程: 平成27年9月16日~18日

実践的な原位置透水試験法(基本コース)

講師: 能野 一美氏、古川 修三氏((株)四電技術コンサルタント)、
久保 慶徳氏(香川高専客員教授)、向谷 光彦(香川高専)

日程: 平成27年10月16日

組込み技術セミナー(リーダーコース)

講師: SESSAME講師

日程: 平成27年12月3日~4日



会則及び会費に関する細則

◆香川高等専門学校産業技術振興会会則

名 称

第1条 本会は、香川高等専門学校産業技術振興会と称する。

目 的

第2条 本会は、地域産業界と香川高等専門学校(以下「香川高専」という。)との連携を深め、香川高専が有する人・知・物的資源を活用し、技術交流や情報交換等各種事業を通し、地域産業の発展を図るとともに、香川高専の教育研究の振興に寄与することを目的とする。

事 業

第3条 本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 産学連携による技術開発の推進、地域産業の発展に関すること。
- (2) 技術に関する講演会、講習会、研修会などの開催及び情報誌の発行。
- (3) 技術分野での技術相談、情報交換に関すること。
- (4) 企業社員の研修等育成支援事業に関すること。
- (5) インターンシップ、共同教育に関すること。
- (6) 企業説明会・見学会、卒業生による就職説明会に関すること。
- (7) 香川高専の教育・研究の充実、振興に関すること。
- (8) その他、本会の目的達成に必要な事業に関すること。

会 員

第4条 本会は、本会設立の趣旨に賛同する次の会員をもって組織する。

- (1) 法人会員 国内外の企業及び団体法人
- (2) 個人会員 本会の趣旨に賛同する香川高専卒業生等
- (3) 特別会員 大学、官公署、商工会議所等の公的機関、香川高専教職員

役 員

第5条 本会に、次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 2名
- (3) 理事 若干名
- (4) 幹事 2名

役員を選出

第6条 役員は、総会において会員のうちから選出する。

役員の仕事

第7条 会長は、本会を代表し本会の業務を総括する。

- 2 副会長は、会長を補佐し会長に事故あるときはその職務を代行する。
- 3 理事は、本会運営に関する事項を処理する。
- 4 幹事は、会長を助けて会務を処理する。

役員の仕事

第8条 役員の仕事は2年とする。ただし、再任は妨げない。

- 2 役員に欠員が生じた場合は、必要に応じて補充する。ただし、補充された役員の仕事は、前任者の残任期間とする。

会 議

第9条 会議は、総会及び役員会とする。

総 会

第10条 総会は、会員をもって構成し毎年1回開催する。

- 2 会長は、総会の議長となる。
- 3 総会において審議する事項は、次のとおりとする。
 - (1) 運営の基本方針に関すること。
 - (2) 事業計画並びに予算・決算に関すること。
 - (3) 役員の仕事に関すること。

会則及び会費に関する細則

- (4) 会則の改正に関すること。
 (5) その他本会の目的達成に関すること。
 4 総会は法人会員及び個人会員の過半数の出席(委任状を含む。)をもって成立し、議事は出席者(特別会員を除く。)の過半数の同意を以て議決する。

役員会

- 第11条 役員会は、第5条に定める役員をもって構成し必要に応じて会長が招集する。
 2 会長は、役員会の議長となる。
 3 役員会において審議する事項は、次のとおりとする。
 (1) 本会の事業、会計及び運営に関すること。
 (2) その他会務遂行上必要と認められること。
 4 役員会は年度末に会務ならびに会計報告を作り、総会で会員の承認を受けなければならない。

経費

- 第12条 本会の運営経費は、会費、寄附金その他の収入をもって充てる。

事業年度

- 第13条 本会の事業年度は、毎年9月1日に始まり、翌年の8月31日に終わる。

事務局

- 第14条 本会は、香川高専地域イノベーションセンター内に事務局を置く。

その他

- 第15条 この会則に定めるもののほか、本会の運営に関して必要な事項は、役員会においてこれを定める。

附則

- 1 この会則は、平成21年8月28日から施行する。
 2 この会則施行後において最初に選任される役員の任期は、会則第8条第1項の規定にかかわらず、平成23年8月31日までとする。
 3 この会則施行後の最初の事業年度は、会則第13条の規定にかかわらず、平成21年8月28日から平成22年8月31日までとする。

附則

- この会則は、平成21年10月1日から施行する。

◆香川高等専門学校産業技術振興会会費に関する細則

目的

- 第1条 この細則は、香川高等専門学校産業技術振興会の会費に関し、必要な事項を定める。

会費の額

- 第2条 会費は年会費とし、次の各号のとおりとする。
 (1) 法人会員 3万円
 (2) 個人会員 1万円
 (3) 特別会員 免除する。

納入時期等

- 第3条 前条に定める会費の納入は、入会時及び毎年度(入会年度を除く。)9月末日までに納入するものとする。
 2 納入された会費は、原則として返還しない。

附則

- この細則は、平成21年8月28日から施行する。

附則

- この細則は、平成21年10月1日から施行する。

役員名簿・会員名簿

◆役員名簿

平成27年11月30日現在

企業名	職 / 氏名	役職
株式会社ヒューテック	相談役 平田 喜一郎	会長
株式会社タダノ	取締役執行役員常務 西 陽一郎	副会長
株式会社百十四銀行	取締役常務執行役員 綾田 裕次郎	副会長
アオイ電子株式会社	常務取締役管理本部長 木下 和洋	理事
株式会社石垣	代表取締役社長 石垣 真	理事
鹿島建設株式会社	常務執行役員四国支店長 風間 優	理事
川田工業株式会社四国工場	鋼構造事業部生産部 四国工場長 辻 巧	理事
株式会社四国総合研究所	代表取締役社長 藤本 靖	理事
四国電力株式会社	常務取締役 末澤 等	理事
四国旅客鉄道株式会社	代表取締役専務鉄道事業本部長 半井 真司	理事
株式会社レクザム	取締役副社長生産本部長 住田 博幸	理事
三和電業株式会社	代表取締役 山地 真人	幹事
香川高等専門学校	副校長 木原 茂文	幹事

◆会員名簿 (50音順)

平成27年11月30日現在

法人会員

葵機工(株)	木下製粉(株)
アオイ電子(株)	錦城護謨(株)
(株)赤松商店	(株)KUMA
(株)朝日段ボール	(株)香西鉄工所
(株)綾野製作所	(株)互光通商
(株)石垣	(株)五星
泉鋼業(株)	(株)コヤマ・システム
(株)今井鉄工所	坂出機工(株)
(株)ウズマキ	(株)サカコー
宇部三菱セメント(株)四国支店	三協エンジニアリング(株)
(株)エイト日本技術開発	(株)三光エンジニアリング
(株)エスビーエフ	讃光工業(株)
(株)OA.システムシャープ	三和電業(株)
オリエンタルモーター(株)高松国分寺事業所	(株)シーマイクロ
香川シームレス(株)	(株)ジェイアール四国コミュニケーションウェア
鹿島建設(株)	四国化工建設(株)
(株)川上板金工業所	(株)四国総合研究所
川崎化工(株)	四国電力(株)
川崎地質(株) 四国支店	四国プラスチック(株)
川田工業(株) 四国工場	四国旅客鉄道(株)

会員名簿

法人会員

- | | |
|------------------|-----------------------|
| (株)システムデザイン | (有)ファイトロニクス |
| 伸興電線(株) | 富士船舶装備(株) |
| 住友大阪セメント(株) 四国支店 | 富士ダンボール工業(株) |
| 瀬戸内金網商工(株) | (株)フソウ |
| (株)セリックス | (株)ベネアス |
| 第一衛材(株) | ポリテック香川(株) |
| 大成建設(株) 四国支店 | 前田工織(株) 四国支店 |
| 大豊産業(株) | (株)マオカ設計 |
| 高松産業(株) | (有)正木鉄工所 |
| 高松帝酸(株) | (株)松本コンサルタント |
| (株)竹中土木 四国支店 | (株)丸善 |
| (株)タダノ | 三菱電機エンジニアリング(株) 丸亀事業所 |
| (株)タダノエンジニアリング | 三村鉄工(株) |
| タチバナ工業(株) | (株)村上組 |
| (株)ダックス | (株)森川ゲージ製作所 |
| 田村ボーリング(株) | 山城金属(株) |
| (株)チェリーコンサルタント | (株)大和製作所 |
| 中央開発(株) 関西支社 | (株)四電技術コンサルタント |
| (株)ちよだ製作所 | ライト工業(株) 四国支店 |
| 筒井鉄工(株) | ラモナー(株) |
| 東洋建設(株) 四国支店 | (株)レクザム |
| (株)東洋製作所 | (株)ワイイーエス |
| 東洋炭素(株) 詫間事業所 | YKKAP(株) 四国事業所 |
| (株)トーコー | (株)ワイジーテック |
| 南海プライウッド(株) | |
| (株)南條工作所 | |
| (株)日進機械 | |
| 日東河川工業(株) | |
| (株)NIPPO四国支店 | |
| 日本基礎技術(株) | |
| 日本工営(株) 四国支店 | |
| 日本興業(株) | |
| 日本国土開発(株) 四国営業所 | |
| (株)パブリック | |
| (株)パル技研 | |
| (株)ビットコミュニケーションズ | |
| (株)百十四銀行 | |
| (株)ヒューテック | |
| (株)ヒロエンジニアリング | |

個人会員

- 中野 安浩
原 卓雄
松川 久俊
三谷 朋幹

特別会員

- (公財)かがわ産業支援財団

事務局からのお知らせ

【今後の予定】

1. 産業技術振興会合同企業説明会

香川高専学生が就職先を選択するうえにおいて、企業の採用担当者の方と接し、振興会会員企業の会社概要及び採用状況などについて情報収集の場を設けることを目的とし、今年度についても下記のとおり合同企業説明会を実施しますのでお知らせします。近日中には詳細のご案内を送付する予定です。

なお、詫間キャンパスに於きましても、別途香川高専主催の合同企業説明会が平成28年3月24日に開催されます。こちらにつきましても詳細のご案内をメールでお知らせいたします。

日時 平成28年3月23日(水)9:00~12:00

場所 香川高専 高松キャンパス 第1体育館

参加費 無料

2. 技術講座予定

現場で役立つ原位置透水試験法(応用コース)

講師:能野 一美 氏、古川 修三 氏((株)四電技術コンサルタント)

木戸 崇之 氏、門田 譲和 氏(ハイスピードコーポレーション(株))

久保 慶徳 氏(香川高専客員教授)、向谷 光彦(香川高専)

日程:平成28年1月21日(木) 9:20~16:30

内容:(1)原位置透水試験法による浸透現象の理論と実務

(2)サンプリングと水位測定ができる新しいスウェーデン式サウンディング試験法

(3)屋外における原位置透水試験とスウェーデン式サウンディング試験の実際

(4)表計算ソフトを用いたデータ解釈、演習

◆ 編集後記

挨拶原稿等を早めにごいただいたものの、突発的な業務に流され編集が遅くなり、12月初旬発行の予定がこの時期までずれ込んでしまい申し訳ありませんでした。さて、編集には全く関係ありませんが、今年の紅白歌合戦に4年ぶりに小林幸子が出演することとなりました。大晦日は紅白でど派手な衣装のラスボス様を見て気分一新してみませんか。

会報及び産業技術振興会に対するご意見、ご希望等がございましたら、お気軽にお寄せください。

今後ともよろしくお願いたします。

香川高専産業技術振興会事務局

〒761-8058 香川県高松市勅使町355
香川高専総務課 研究協力係

TEL.087-869-3865・3815・3818

FAX.087-869-3819

E-mail kenkyu@t.kagawa-nct.ac.jp
<http://www.aip-kagawa-kosen.org/>